



たちほらせいいちろう  
立原清一郎（番方若同心→隠密廻り）、美琴（妹）

しんざえもん  
新左衛門（亡き父 定町廻り同心）— ちよ  
千代（亡き妻）

ふるしち  
古七（小者）、お米（下女）

でんぞう  
伝蔵（御用聞き）

いじゅうろう  
松田伊十郎（作事方普請同心）、さぶろうた  
三郎太（三男）、さなえ  
早苗（娘）

ひいらぎ  
柊 東十郎（定町廻り同心）、ゆずり  
柚里（娘）

きね  
杵屋（小間物問屋）、はなえ  
花江（娘）

こうのともしん  
河野友野進（清一郎のうぶかた  
生方道場同輩）

かがのかみうじのり  
岩瀬加賀守氏記（南町奉行）

かめ えもん  
信藤亀右衛門（南町年番方与力）

きちのすけ  
町田吉之助（南町隠密廻り同心→用部屋手付同心）

さえぐさけんのすけ  
三枝健之助（南町同心）

きさづかごんいちろう  
笹塚権一郎（南町定町廻り同心）

たかずみ  
西田順之助（高積見廻り同心）、ちえ  
千枝（娘）

おしだ  
忍田雄一郎（養生所見廻り同心）、孫三郎（三男）

かまた  
鎌田助左衛門（信州の藩士）、文（亡き娘）

うぶかた  
生方道場（鏡新明智流）

そえだ  
添田道場（中西派一刀流）

はなのやそうべえ  
花野屋惣兵衛（扇屋）— おくめ（女房）

さきち  
佐吉（番頭）、しんきち  
伸吉（手代）、うしまつ  
丑松（手代）

おたけ（女中頭）、おまつ、おのぶ、おうめ、おそめ

ぶん えもん  
文右衛門（口入屋）

つくよみてい  
月読亭（料理屋）、おすね（女中頭）、お豊（女中）

ふるかわや  
古河屋（口入屋）

かすみ  
霞の長兵衛

まむし  
蝮の久兵衛（島帰り）、ごんぼち  
権八（破落戸）

べんごろう  
七化けの弁五郎（凶状持ち）

ぬえ まちぞう  
鶴の町蔵（盗賊）、しまじろう  
島次郎、みのじ  
蓑次、かまさぶろう  
鎌三郎、ごすけ  
五助、かついち  
勝一、もろぞう  
師造